

**製品名: ABCC12 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06409**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	170kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ABCC12
別名	ABCC12; MRP9; Multidrug resistance-associated protein 9; ATP-binding cassette sub-family C member 12
遺伝子 ID	94160.0
SwissProt ID	Q96J65
免疫原	抗血清はヒト MRP9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 691-740

**背景**

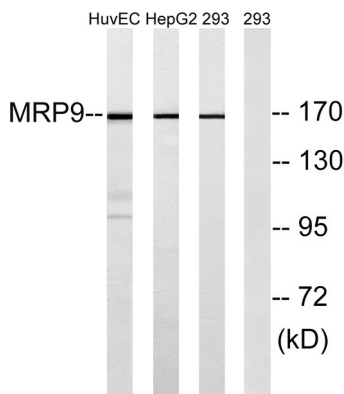
この遺伝子は ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーであり、コードされているタンパク質は 2

つの ATP 結合ドメインと 12 の膜貫通領域を含む。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を介して様々な分子を輸送する。ABC 遺伝子は、ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、および White の 7 つの異なるサブファミリーに分類される。この遺伝子は、多剤耐性に関与する MRP サブファミリーのメンバーである。この遺伝子と別のサブファミリーメンバーは、染色体 16q12.1 上に頭尾方向に配列している。この遺伝子の発現増加は乳がんに関連している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、発生段階：胎児組織で発現、機能：おそらくトランスポーター、類似性：ABC トランスポーターファミリーに属する。共役輸送体 (TC 3.A.1.208) サブファミリー。類似性：2 つの ABC 膜貫通型 1 型ドメインを含む。類似性：2 つの ABC 輸送体ドメインを含む。組織特異性：精巣で発現 (タンパク質レベル)。低レベルでは広く発現している。アイソフォーム 5 は、脳、精巣、乳がん細胞で特異的に発現している。

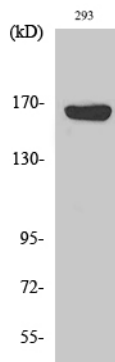
## 研究分野

ABC トランスポーター;

## 画像データ



MRP9 抗体を用いた 293 細胞、HepG2 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ABCC12 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。